

與那原驛舎新聞

2023
12月号

【発行所】
軽便 与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888
【発行人】
株式会社 YUKAZE (指定管理者)

県鉄開通記念企画

開催しました

1914年(大正3)12月1日、沖縄県鉄道(県鉄)が開通しました。県鉄開通を記念して、与那原駅舎では12月9日(土)と10日(日)に鉄道にまつわる企画を実施しました。

県鉄ミニシンポジウム

9日(土)には館内で県鉄ミニシンポジウムを開催しました。稲嶺航氏(元与那原町史編集事務局)による司会のもと、当館学芸員が歴史学の視点で「沖縄県鉄道のレール更替事業」、沖縄女子短期大学の波平エリ子氏が民俗学の視点で「軽便鉄道と年中行事」、町生涯学習振興課の與那嶺明恵氏が考古学の視点で「沖縄県鉄道与那原駅跡国登録記念物の軌跡」の題で、研究成果を発表しました。クロストークでは照屋勉町長も登壇、県鉄の歴史を踏まえたLRT導入へ向けた意気込みを述べていた



いただきました。過去から未来へとつながるミニシンポジウムとなりました。

6万人達成記念式典

当日は入館者6万人達成記念式典も開催されました。6万人目となったのは琉球大学の学生で、町長から記念品の贈呈がありました。つなひきかちゃんも駆けつけて、一緒にお祝いしました。

妄想県鉄アナウンス

式典の後は妄想県鉄アナウンスを開催。「もし県鉄が現存していたら」という想定で学芸員が車内アナウンスの文案を考え、ゆいレール全面協力のもと、現役運転士に実演(事前録音)してもらいました。

アナウンスに加え、学芸員がその元ネタや設定を解説。快速や特急、観光列車など10本のアナウンスがあり、みな熱心に聞き入っていました。参加者から「鳥肌がたった」「(テレビ番組の)タモリ倶楽部

駅舎コラムの

運賃の値上げ

沖縄県鉄道は公共交通機関であり、運賃を支払えば誰でも乗ることができました。

現在、与那原駅舎の入館券は当時の切符を模してありますが、それには18銭と記されています。これは与那原・那覇間の運賃で、もちろん乗った区間によって運賃が決まりました。

18銭という額も、当初からそうだったわけではありません。

みたい」などの感想もあり、実際に乗車しているような感覚で楽しんでいただけました。

与那原線ウォーク

10日(日)には、与那原線の線路跡約10キロを歩く「与那原線ウォーク」を実施しました。遠くは県外からの参加もあり、線路跡・駅跡を楽しくウォーキングしました。

次回てらこやのお知らせ

年明け1月13日(土)、てらこや駅舎を開催します。今回は駅舎敷地の発掘調査の最新報告会の予定です(要予約)。詳細は公式サイト、SNSにてお知らせします。



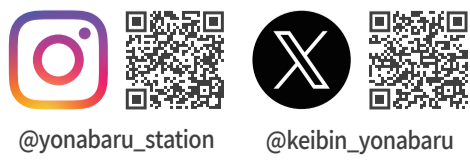
与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道(沖縄県営鉄道/軽便鉄道)。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100 (町外)

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師

公式サイト、SNS
<https://www.yonabaruekisha.com/>



ん。1914年(大正3)、開通当初の那覇・与那原間の運賃は12銭(3等)となっていました。直後に値上げされたように、1917年(大正6)改正の時刻表では15銭、さらに1923年(大正12)の時刻表では18銭となっています。その後20年ほど18銭の時代が続きますが、1944年(昭和19)改正の時刻表で25銭となっていました。戦争による燃料規制もあったため、その影響が運賃に現れたのかもしれない。(学芸員K)